

※評価基準  
A 達成  
B ほぼ達成  
C 取り組みがやや不十分  
D 取り組みが不十分

※記載担当  
[O] 主担当  
[△] 副担当

平成27年度自己点検評価書

Table with columns for evaluation items, staff roles, and performance metrics. Includes sub-sections like '1 教育に関する事項' and '1 (1) 入学者の確保'. Rows contain detailed descriptions of activities, staff involvement, and evaluation results.











131	I	1	(5)	① 学生向け各種講習会(ビジネスマナー・携帯電話利用・暴力団排除等)の実施		○														学生向け講習会として、インターンシップ参加学生を対象とした「ビジネスマナー講習会」を6月17日に、携帯電話によるトラブル防止のために「ケータイ安全教室」を4月22日(1年生対象)に、「交通安全講習会」(1年生対象)を6月8日に、「暴力団排除教育」(1年生対象)を6月27日に、「いじめ防止講習会」(1年生対象)を7月2日に実施した。(学生主事)	A(学)	A		ケータイ安全教室・暴力団排除教育については1年生に実施予定。就職支援セミナーは5年生にビジネスマナー講習会は4年生を対象に計画中。(学生)
132	I	1	(5)	① 入学科・授業料免除の情報提供と実施		○														これらの情報提供についてはホームページや掲示により行っている。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様実施する。(学生)
133	I	1	(5)	② 学生寄宿舎環境改善のための施設・設備の整備計画策定・予算要求			○													筑水寮男子トイレの配管改修工事、捕食室への食器棚の設置、食堂厨房への冷蔵庫の更新、シャワー室の補修等を行った。また、夏季閉寮期間中に寮内の消毒、洗濯機の洗浄等を実施した。3月閉寮期間中に居室内装の部分的補修を実施の予定。(寮務主事)	B(寮)	A	A	寮生活環境整備経費及び寮費を利用した計画的な整備計画を策定し実施する。(寮)
134	I	1	(5)	③ 奨学生募集説明会の開催		○														日本学生支援機構奨学生の募集説明会が4月16日(木曜日)16:40からD3教室において実施された。(学生主事)	A(学)	A	A	今年度同様実施する。(学生)
135	I	1	(5)	③ 各種奨学金に関する情報の集約及び情報提供		○														情報の集約は学生生活支援係で行い、ここから掲示による通知、または担任会を通してホームページでの情報の提供を行っている。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様実施する。(学生)
136	I	1	(5)	④ 就職・進学等の進路指導の実施						○	○	○	○	○	○					各学科で就職主任を中心に学生個々に対応したきめ細やかな就職指導を行っている。H26年1月下旬には次年度就職予定学生を一室に集め、就職に関する留意事項やスケジュールを説明後、本校OBで且つ長年企業で人事を担当した外部講師を招聘し、OBとしてまた人事担当者としての就職に関する心構えに関する講演会を開催し、就職に関する啓蒙活動を行った。また3/19には本校を会場に九州地区高専生を対象とした合同企業説明会(133社参加)を開催予定である。また担任会を通して学外開催の合同説明会に関する案内及び参加勧奨を行った。本校来校の企業人事担当者と面談を行い(年間100社以上)、意見/情報交換を行い、そこで得られた情報を就職指導に活用した。また各企業で働く本校OBを招き、キャリア講演会を適宜開催している。(就職主任)就職は、学科の就職担当教員を中心として、適宜卒業研究指導教員などが加わり、個々の学生に対して指導している。また進学については、5年担任教員を中心に指導している。また毎年12月に卒業生による実体験にもとづく講演会を3年生以上を対象に行っている。(機械)5年担任、就職担当に加え、本年度は進学について学科長が指導実施。(電気)就職主任、5年担任による指導を実施している。また、教室会議では学生の就職・進学状況を共有した。(制御)就職支援は、就職主任が実施、進学は、5年担任が実施し、就職100%の決定、企業のOBを迎えてキャリアセミナーを実施、進路指導は、大学の学校説明会を開催(生化)担任、就職担当教員、研究室教員が適宜実施、特に就職については、4年生に対し就職及び進学が決定した5年生に経験談を話させるとともに、就職担当主任がこれまでの実績、準備心構えなど、丁寧に説明会を実施。(材料)	A(就、機、電、制、生、材)	A	A	次年度も就職委員会を中心に各学科就職主任間の連携を密にしなが、大学とは違う高専という特殊な就職環境にある学生に対し、丁寧かつ積極的な進路指導を行っていく。(就職主任)今年度と同様に実施予定。(機械)例年通り行う。(電気)次年度も継続します。(制御)次年度も継続(生化)5年担任、就職担当教員、研究室教員が適宜実施するように計画している。特に就職については、4年生に対し後期の授業のなかで就職及び進学が決定した5年生に経験談を話させるとともに、就職担当主任がこれまでの実績、準備心構えなどの説明会を実施予定。(材料)
137	I	1	(5)	④ 就職・進学状況の把握		○				○	○	○	○	○						本科の進学状況について9月の学科長委員会で報告した。(教務主事)就職状況について適切に把握すると同時に、学科内においては学科会議で情報を共有し、学科間では就職委員会において学校全体の情報を共有している。(就職主任)教室会議等の報告で、学科の全教員が細かく把握している。(機械)毎月開催の学科会議で担任・就職主任から報告(電気)教室会議で就職・進学状況の報告は必須としている。(制御)就職、進学の合格は、学科会議で報告され、全教員が把握している。(生化)学科会議、メールなどで情報の共有を図っている(材料)	A(就、機、電、制、生、材)	A		定期的に情報を集約し報告する。(教務主事)次年度も各学科においては就職主任、担任教員、学科長等を中心に就職状況を把握し密な連携を行っていくと同時に、学科間では就職委員会の場や適宜機会を捉えて各学科の情報を学校として共有していく。また例年同様、可能な限り企業人事担当者や面談し、最新の就職状況情報の収集や意見交換を行い、それを本校の学生の進路指導にフィードバックさせていく。(就職主任)今年度と同様に実施予定。(機械)次年度も継続します。(制御)次年度も継続(生化)次年度も継続(材料)
138	I	1	(5)	④ 進路選択支援に関する他高専の取り組み事例調査		○				○										26年度末の春期休業中に、近隣の各高専(北九州、佐世保、八代キャンパス)を訪問し、就職担当者と意見交換すると同時に、各高専の就職支援関係の施設の見学を行った。27年度末も前記以外の高専(主として九州南部地区)を訪問し、就職担当者と意見交換すると同時に、各高専の就職支援関係の施設の見学を行う予定である。(就職主任)	A(就)	A		次年度も近隣の高専をはじめとして積極的に機会を捉えて他高専の取り組み事例の調査を行う。また他校の進路指導担当者等を講師とした学内FDを開催し、他校の取り組みを学内の教員にも周知し、これらの調査活動を経て、本校の進路指導の在り方を議論、進展させる基盤づくりに取り組むことを計画している。(就職主任)
139	I	1	(5)	④ キャリア教育の一環としての就職活動準備セミナー等の実施						○										学生会主催でインターンシップ前の学生(4年生)対象のビジネスマナー講座を開催した。前期のように1月下旬に就職活動準備セミナーを開催し、また3月に本校において恒例の合同企業説明会を開催予定(就職主任)	A(就)	A		次年度も今年度と同様の就職活動準備セミナーを開催予定である。また就職予定学生だけでなく、低学年からの指導を含む、『久留米高専としてのキャリア教育の在り方』について議論の場を設ける。(就職主任)
140	I	1	(5)	④ 就職活動採用時期変更への対応						○										就職委員会が学校としての対応方針を協議/確認すると同時に個々の案件については各学科就職主任と各企業担当者との協議の上対応した。前記の次年度就職予定者向けの講演会に於いて就職総括から就職活動採用時期変更の詳細と対策について詳しい説明を行った。(就職主任)	A(就)	A		次年度も今年度と同様、個々の学科においては就職主任が機会を捉えて採用時期変更への対応について指導すると同時に学校全体として例年通りの就職活動就職活動準備セミナーを開催しその場で就職活動採用時期変更への対応についての指導を行う。(就職主任)
141	I	1	(5)	⑤ 学生の自主的学習を進める上での相談・助言の体制整備		○					○	○	○	○	○					学校として、日常的な事柄なのであり、学生相談室等もあるので、どこに体制整備は必要ないと考えている。(機械)担任、各科目担当で行っており、学科としては特に制度は設けていない(電気)各教員において検討、また実施している。(制御)オファスアワーは設定していないが、教員が在室している限りいつでも実施している。(生化)特にオファスアワーを決めてはいないが適宜対応している。1-4年生であれば学級担任、5年生、専攻科生であれば研究室の教員が助言を与えている。(材料)英語では学生のネットアカデミーの進捗状況を教員がモニターし、助言している。(文)各教員で質問に来た学生の対応をした。その学生を教えている教員が対応する時間が取れない場合、同じ科目の教員が代わりに対応するなど科目内で協力し合った。(理)	A(機、制、生、材、文、理)B(機)	A	A	今年度と同様に実施予定。(機械)例年通り行う。(電気)次年度も継続します。(制御)次年度も継続(生化)次年度も継続(材料)今年度の実践を次年度も継続する。(文)次年度も引き続き、自主学習できるよう対応する。(理)
142	I	1	(5)	⑤ 学生の主体的学習を増やすための方策検討		○	○				○	○	○	○	○					今年度未対応(専攻科主事)5年生の専門必修科目、機械要素設計実験において、個々の学生が設計したハンドルからグループ代表のハンドルを選ばせ、そのハンドルをグループのハンドルとして、製作し強度試験を行い、所定の強度にならなかった場合は、原因の究明、改善点の抽出をグループ討議により、行わせている。これらの過程で学生は、座学や演習で学んだ知識を用いて議論する。この過程を通して、学生に主体的学習を促している。(機械)予習・復習時間を増やすように、各担当教員が各科目で工夫(電気)各教員において検討、また実施している。(制御)生化1年生を対象として、モル道場(化学I)の自学教室で、適宜学生からの質問を受け付ける)を実施。(生化)工業英語で毎回レポート提出を義務化。(材料)社会では授業にアクティブ・ラーニングを取り入れ、学生の主体的な学習を促進している。(文)数学問題集の解答を学生に配布し、自学自習できるようにした。各教員で演習のプリントを配布するなど対応した。学生の学力に応じた個別の課題を工夫した。特に意欲的な学生には進んだ教材を提供し指導した。(理)	A(機、制、生、材、文、理)B(機)	A		来年度検討する。(専攻科主事)今年度と同様に実施予定。(機械)例年通り行う。(電気)次年度も継続します。(制御)次年度も継続(生化)次年度も継続(材料)今年度の実践を次年度も継続する。(文)次年度も引き続き、数学教員で主体的学習できるよう工夫する。(理)
143	I	1	(5)	⑤ 外国留学に対する支援の必要性検討		○									○					英語教員が留学希望者の相談を受け助言を行っている。(文)	A(文)	A		今年度の実践を次年度も継続する。(文)
144	I	1	(5)	⑤ 外国人留学生に対する学習・生活面の支援		○	○				○	○	○	○						年間60時間、留学生のみを対象とした日本語の授業を行っている。(教務主事)留学生には該当クラスの寮生から日本人チューターを選び、学習や生活面の相談・支援にあたる。さらに、寮務主事室と寮生活支援係が適宜支援している。寮生会による寮祭や異文化交流会も開催し、留学生と寮生間の親睦を深めた。女子寮では寮母による女子留学生との交流も図られていた。後期には冬の寮祭を実施し、ボーリングや餅つき、BBQによる寮生相互の交流を図った。(寮務主事)寮生から留学生の学習を支援する学生を選出しており、担任を中心に各教員が、学習・生活の両面から支援している。(機械)3年生担任を主に実施(電気)該当なし。(制御)本科3年クリスの相談員と担任で支援。(生化)国語Ⅲを専門用語(日本語)を学ぶ時間に振り替え、学科教員がオムニバスで対応。(生化)担任、チューターを主体に支援を行っている(材料)	A(寮、機、生、材)B(電)	A		寮での留学生のみを対象とした日本語の授業を行う。(教務主事)次年度入寮予定の3名の留学生を加えて、従来の学習・生活面での支援を行う。また国際交流事業で来校する短期留学生に対しては、宿所の提供を中心にサポートを継続する。(寮)今年度と同様に実施予定。(機械)28年度も留学生が予定されているため、チューターと担任で連携して支援する予定。(電気)担任、チューターを主体に支援を行う予定(材料)
145	I	1	(5)	⑤ マイクソフト包括ライセンスの利用						○										Officeに対する学生の個人利用のオプションが1昨年11月で終了し、今年度5月以降office365移行した。それに伴い利用方法を担任会で案内した。(総合)	A(総)	A		個人利用オプションによるofficeを利用している学生に対してoffice365へ切り替えるように促す。(総合)
146	I	1	(5)	⑥ 学校の枠を超えた学生の交流活動の実施		○	○			○										有明、北九州との対応を三高専で検討した。(専攻科主事)高等教育コンソーシアム久留米の学生主体の活動として、久留米市の広報誌(広報くるめ)に「くるめ学生通信」の記事を各校で連載した(産学民)。	C(産)	A	A	来年度引き続き検討する。(専攻科主事)高等教育コンソーシアム久留米の学生主体の交流活動として、広報誌等への各校記事連載を継続する(産学民)。※次年度より、学生主事を担当者に追加する。
147	I	1	(5)	⑥ 課外活動における外部コーチの活用		○														現在文化局・体育局、あわせて35団体が活動しているが、そのうち14団体がコーチを導入している。(学生主事)	A(学)	A		今年度同様に実施する。(増員予定)(学生)





200	I	1	⑥	成績評価・単位認定・進級認定・卒業修了認定の学生・保護者への開示	○		○														年4回の試験ごとに保護者へ送付している。(教務主事) 次年度に向けて保護者懇談会での資料の見直しを実施。(専攻科主事)	B(専)	A	保護者説明会に改定した資料で説明を行う。(専攻科主事)			
201	I	1	⑥	編・転入生が他高等教育機関で取得した単位の評価と補講の実施	○		○						○	○	○	○					平成27年度は留学生を除き該当者無し。(教務主事) 該当なし(専攻科主事) 今年度、該当者なし(機械) 現在のところ、留学生以外は該当せず。留学生については対応済み。(電気) 該当なし。(制御) 該当無し(生化) 該当なし(材料)	B(機)	A	平成28年度は留学生を除き該当者無し。(教務主事) 今年度と同様に実施予定。(機械) 該当者がいないため評価せず。(電気) 次年度は未定(生化)			
202	認	1	⑥	△年度末成績・及落査定・卒業査定意見申立制度導入の検討	○																代替案として教務関係留意事項に記載し、成績確定前に問い合わせに答えるよう依頼している。(教務主事)	C(教)	C	学年暦の枠組みの中で検討する。(教務主事)			
203	外	1	⑦	本科・専攻科進路の県内・県外割合把握、公開(H25外部評価委員会)																	○	年度別進路状況表(県内・県外が把握できる資料)をホームページへアップした。(学生課)	A(学生)	A	A	継続して、年度別進路状況表(県内・県外が把握できる資料)をホームページへアップしていきたく。(学生課)	
2 研究や社会連携に関する事項																											
204	I	2	①	① 科研費説明会及びその他の外部予算説明会の開催																			A(企)	A	A	引き続き、同様の説明会を実施し、必要があれば追加を検討する。(企画主事)	
205	I	2	①	① 科研費採択数向上対策検討																			A(企、生) B(文) C(理)	A		引き続き、科研費申請説明会の実施、科研費不採択者の校長裁量経費による支援、科研費申請書の査読、勤勉手当・特別昇給への反映を実施する。(企画主事) 学校として取り組んでいるので学科としては特にない。(電気) 次年度も継続(生化) 次年度も継続(材料) 一人一件以上の申請を推進する。(文) 次年度は科研費の全員申請を目標とする。(理)	
206	I	2	①	① 科研費採択率向上対策検討(第6回学科長委員会)	△		△	○													△	A(企) B(総)	A		上記項目との違いが不鮮明なので、項目を「科研費申請数向上対策検討」に変更するとともに、本年度実施内容を引き続き実施する。(企画主事) 平成27年度第6回学科長委員会において提案されたその他の施策についても実施を検討する。(総務課)		
207	I	2	①	① 財団法人等の研究助成金情報のウェブによる周知																		○	A(総)	A		来年度も本年度と同様に取り組む。(総務課)	
208	I	2	①	① 全国高専フォーラムへの参加																		○	A(産)	A		研究力・連携力の強化、共同研究等への展開、イノベーションの創出などを旨とし、次年度も積極的に参加する(産学民)。	
209	I	2	①	① 九州沖縄地区高専テクノセンター長等会議への参加																		○	A(産)	A		九州沖縄地区の産学連携担当が一室に会する機会なので積極的に参加し、情報交換並びにブロックとしての連携を強化する(産学民)。	
210	I	2	①	① 高専機構 新技術説明会への参加																		○	B(産)	A		今後も積極的に「高専機構 新技術説明会」へ参加する(産学民)。	
211	I	2	②	② 共同研究・受託研究の受入れ促進																		○	A(機、生、材、理) B(産) D(文)	A	A	テクノネット久留米、久留米市並びに久留米リサーチ・パーク等との連携により積極的な共同研究の受け入れを行った。現在のところ今年度のテクノネット久留米会員企業等との共同研究は4件であり、全共同研究件数は25件である(産学民)。 技科大、その他大学、企業との共同研究、受託研究実施中(生化) 技科大、その他大学、企業との共同研究、受託研究実施中。福島高専主宰の「廃炉に関する基盤研究を通じた創造的人材育成プログラム」に参加。(材料) 該当なし。(文) 広島大学、有明高専との共同研究に取り組んだ。(理)	
212	I	2	②	② A-STEP研究成果最適展開プログラム制度利用促進																		○	B(産)	A		TV会議システム等による研修会を利用し、学内においてその周知と案内とを徹底する(産学民)。	
213	I	2	②	② 産学民連携テクノセンターの施設利用による研究成果公表の検討																		○	B(産)	A		引き続き産学民連携テクノセンター報による研究成果公表に加え、各種公開イベントに参加する(産学民)。	
214	I	2	②	② テクノセンターの活用による研究環境の充実																		○	B(産)	A		特に若手研究者に対して産学民連携テクノセンター重点プロジェクト室を提供し、研究環境支援として活用する(産学民)。	
215	I	2	②	② 産学民連携テクノセンター報の発行																		○	A(産)	A		次年度も産学民連携テクノセンター報2016を継続発行する(産学民)。	
216	I	2	②	② JSTや経産省九州経済産業局及び地域の公設研究機関との連携推進																		○	A(産)	A		地域の公設試である久留米リサーチ・パークや産業技術総合研究所九州センターとの連携体制を強化し、各種イベントに参加する(産学民)。	
217	I	2	②	② 産業技術総合研究所及び日本弁理士会九州支部との連携推進																		○	A(専) B(産)	A		産業財産権特論の継続実施。(専攻科主事) 7月10日に開催された「日本弁理士会九州支部設立10周年記念知的財産セミナー・記念式典」への出席及び「第2回九州沖縄地区高専・日本弁理士会九州支部交流会」において、本校教員(2名)の研究シーズ発表を行い、連携推進を図った(産学民)。	
218	I	2	②	② 産学民連携コーディネーターの配置検討																		○	D(産)	C		産学民連携コーディネーターの配置については今後も継続検討する(産学民)。	
219	I	2	②	② 知的財産活用フォーラムへの参加																		○	B(産)	A		知的財産活用フォーラムに参加し、知的財産に関する知識の習得を図る(産学民)。	
220	I	2	②	② 久留米商工会議所、久留米リサーチパーク、地域銀行などのイベント参加																		○	B(産)	A		首記主催のイベントに積極的に参加・展示ブースに出展し、久留米高専の産学民連携活動について紹介する(産学民)。	
221	I	2	②	② 全国レベルの展示会への出展を通じた産学連携活動のアピール																		○	A(産、生) D(文)	A		平成28年度全国高専フォーラム参加やイノベーション2016大学見本市等全国規模のイベントへの出展により、産学連携に関する本校のアピールを行うと共に、情報収集と人的ネットワークの拡充に努める(産学民)。 該当しないので評価せず。(電気) 次年度も継続(生化) どのような可能性があるか検討する。(文)	
222	I	2	②	② 「テクノネット久留米」(技術振興会)と連携した活動の推進																		○	B(産)	A		久留米高専と地域産業界等との連携・交流を深めることにより、地域産業の発展に寄与するとともに、久留米高専の教育研究の振興を図ることを目的に、テクノネット久留米との連携を強化する(産学民)。	
223	I	2	②	② 日本歯車工業会JGMAギヤカレッジへの参画																		○	A(機)	A		次年度から学校の受託事業として参画予定。(機)	
224	I	2	②	② ゴムの実践技術講座の実施																			○	A(生)	A		次年度も継続(生化)
225	I	2	②	② 腐食防食技術研修会の実施検討																			○	A(材)	A		講師として参加・協力予定(材料)
226	I	2	③	③ 研究における技術科学大学との多様な連携の可能性検討	○		○																	A(生、材) C(専) D(電、文)	A	A	通信システムを使用するセミナーなどの活用を検討する。(専攻科主事) 学科として検討するのは困難(電気) 次年度も継続(生化) 三機関連携事業への参画予定(材料) どのような可能性があるか検討する。(文)





